



## 「追指導（高等部卒業後の支援）」について

いよいよ令和3年度の卒業式を迎え、高等部3年生が12年間の学校生活を締めくくり、社会人になります。進路は一人一人違いますが、これからの生活に期待を膨らませていることでしょう。それぞれの目標に向かってがんばってほしいと思います。

卒業後は、困ったことや悩みがあったら、家族や相談支援事業所の方などに相談することが大切です。就職した場合は、障害者就業・生活支援センター（ナカポツ）の方やジョブコーチの方などが相談を聞いてくれます。学校職員も、原則的に卒業後3年間は「追指導」という形で、卒業生が通勤、通所している事業所を訪問して、働いている様子を見たり、事業所の方に困ったことがないか聞いたりしています。

そこで今回の「ステップ」では、卒業した先輩たちへの「追指導」で聞いた施設の職員の方の声、職場の従業員の方の声を、ほんの少しですが紹介します。



- ◎元気の挨拶が素晴らしい！周りの人のお手本になっている。
- ◎すぐに、報告、連絡、相談をしてくれて助かっている。
- ◎清掃作業がとても上達した。作業スピードが上がった！
- ◎自作の作業日誌を用意して、日々の業務を振り返っている。  
とてもいいこと！感心する！ などなど

以上のように、仕事や生活の様子を褒められることが多いです。ただし、中には下のようなことを言われることもあります。

- ▲入社時は挨拶していたが、半年たつとあまり挨拶しなくなった。
- ▲携帯やゲームで夜更かしして、寝不足な様子で困った。
- ▲注意しても失敗を認めず、いいわけをしてばかりで謝らない。
- ▲時間ぎりぎりに出勤するようになった。 などなど



そんな話になったときは、すぐに、学校職員や障害者就業・生活支援センターの支援員の方、ジョブコーチの方などが話し合いをして、一緒に改善策を考えて助けます。

社会人になれば、楽しいこともあれば、大変なこともあると思いますが、卒業生の皆さんが、充実した社会人生活を送ることができるよう今後も応援していきたいと思っています。



小学部、中学部、高等部の卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

稲川支援学校進路だより「ステップ」では、各学部の進路学習や、実習や作業学習週間、進路研修会、青年学級等の行事などについてお伝えしてきました。次年度も、進路指導に役立つ情報発信をしていきます。1年間、ご協力ありがとうございました。